

オクト 夾配

くりまさる

高澱粉

高糖度

高品質



トンネルの早出しから 露地栽培、ハウス抑制まで広く適応する。



特性

1. 果実

- ①肩張りの良い扁円形で、果皮は濃暗緑色の地に灰緑色のちらし斑と数本の条斑が入る。
- ②1.5kg内外で、揃いが良く、肉が厚い。
- ③肉色は濃く、ホクホクする肉質。
- ④成熟日数は開花後約45日。

2. 茎葉

- ①つるは太めで、葉は濃灰緑色の中大葉となる。
- ②節間は短かく、特に本葉5~6枚の低節位は良くつまる。
- ③他のつる性の品種と展開葉の速度は程んど変わらない。抑制では1~2枚遅れることもある。

3. 花

- ①温度その他の条件によって変わるが5~6節より3~4節毎に雌花を生じる。
- ②雄花の花茎は、葉柄よりも短い。

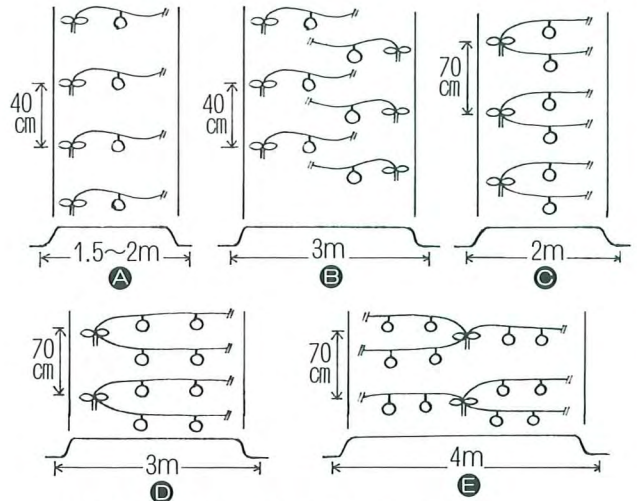
●節間長が短いことを生かした栽培の利点

- ハウス・トンネル栽培で、少しでも長く被覆下につるを置くことができるので、晩霜回避しやすい。
- ベッド巾を狭くし、一つ一つ果を目標とする。早出しでは品質を揃えて反収を上げることができる。
- 普通露地栽培において、畦間の中耕・除草・施肥をする時、つる長が短いので作業が容易となる。

栽培型	月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
トンネル I		○	●	●	●	●	■					
トンネル II		○	●	●	●	●	■					
大型キャップ			○	●	●	●	■					
抑制栽培							○	●	●	●	■	

●栽培様式

	整枝本数	収穫数	畦間(m)	株間(cm)	株数(本)	誘引方法
A	1	1	1.5~2	40	1,200~1,600	1方向
B	1	1	3	40	1,600(2条)	一方向(向いあわせ)
C	2	2	2	70	700	一方向
D	2	4	3	70	470	〃
E	3	6	4	70	350	ふりわけ



●栽培上特記すべき点

1. 育苗

低温において花芽分化が生じるので、最低温度は10~12°Cとし、日中晴天最高温度は30~32°Cに管理する。定植前より定植後の気温に慣れるような管理をし、徒長させない。

2. 定植

十分な湿りけをもたせて定植する、2~3日後に株元に灌水をし、活着を良くする。定植時の地温は15~16°Cを確保する。

3. 整枝

親づる摘芯を4~5枚で行なう。子づるの長さが2~5cmの時に2~3本に整理すると作業性が良い。伸長してきた時には、整とんを行ない、つるが交叉しないようにする。

4. 着果

一つ一つ果を目標とするときは10~14節、二果を目標とするときは15~18節から着果させる。節間がつまっている間は着果させない。一般的に株元から60cm~1mを着果位置の目安とする。

5. 収穫

作型や天候などによって異なるが開花後45日頃が収穫の適期となる。